

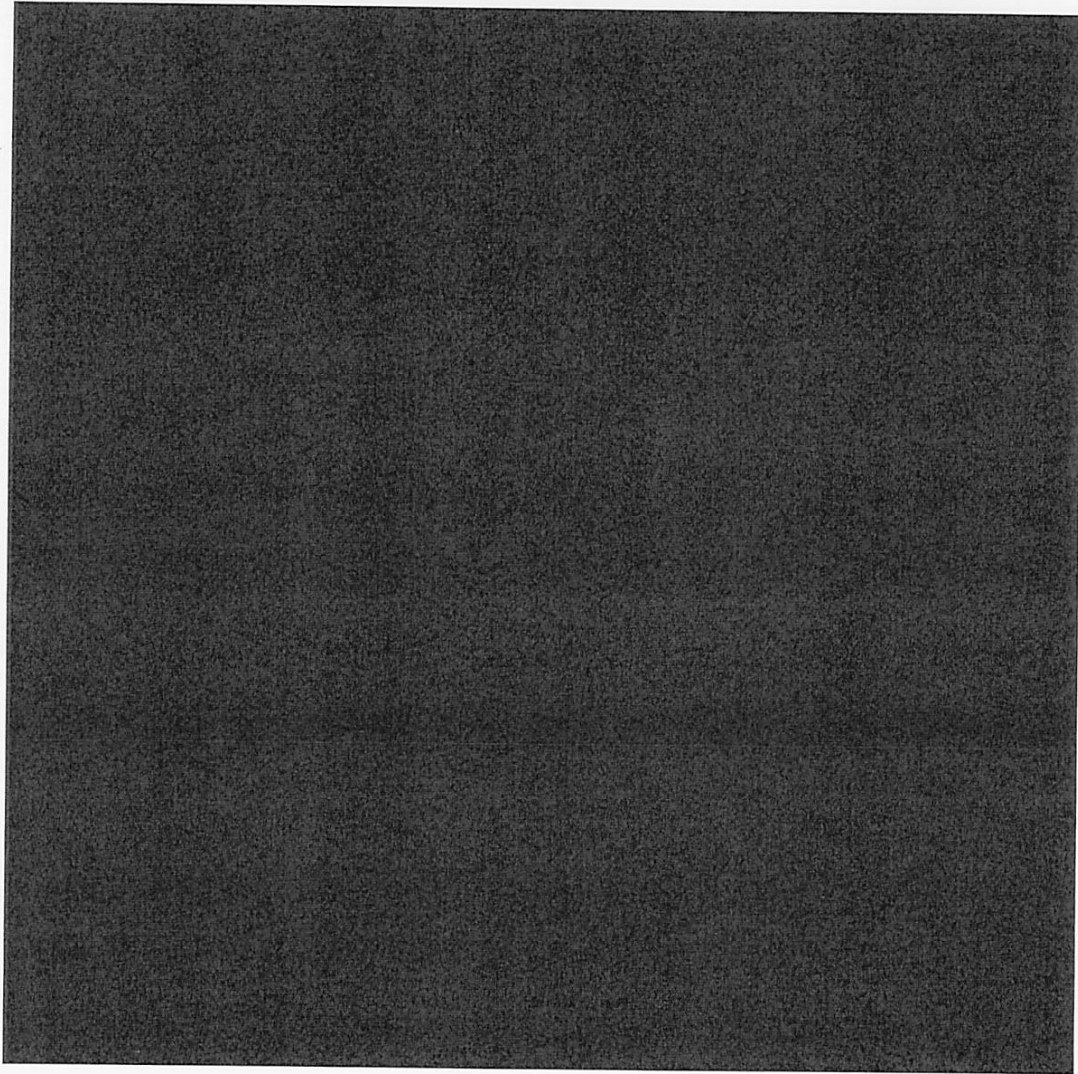
通常逮捕状处理点検票（裁判官用）

[事件番号

]

[被疑者

]



通常逮捕状処理点検票（書記官用）

[事件番号] [被疑者]

第1 逮捕状請求書の点検

※ 請求書を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 受付日・日付・受付時刻の間違ひはないか(午前0時をまたぐ処理の場合特に注意)
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」で正しいか(地裁処理か簡裁処理かを再度確認)
- ☐ 請求書の**作成年月日**の記載は正しいか(請求が午前0時より後の場合は、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意)
- ☐ **警察署の庁印**があるか(漏れている場合は裁判官の指示をあおぐ)
- ☐ 官公職氏名(**警部以上**)の記載、押印はあるか
- ☐ **罪名**は被疑事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
- ☐ 被疑者の氏名、年齢、職業、住居の記載は正しいか(戸籍謄本、住民票、本籍照会等で確認)
- ☐ 引致すべき官公署又はその他の場所は正しいか(「**〇〇警察署又は逮捕地を管轄する警察署**」とするのが通例)
- ☐ **被疑事実**の要旨に誤字・脱字はないか
- ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか
- ☐ 訂正箇所に**訂正印**を押させたか(請求書は請求者印、謄本は認証者印か請求者印)
- ☐ 請求書一式に**請求者の契印**はあるか(ない場合は押してもらう。裁判官の契印で代えることも可)
- ☐ 原本の記載と謄本の記載は一致しているか(警察署の庁印・受付印・訂正印含む)
- ☐ 謄本認証は適切か(日付、認証者官公職氏名、認証者印)

第2 逮捕状（通常逮捕）の作成

- ☐ 令状名は「逮捕状(通常逮捕)」で正しいか。
- ☐ 被疑者の氏名は「〇〇〇〇」で正しいか(外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入)
- ☐ 発付年月日は「令和2年6月4日」で正しいか(発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする)
- ☐ 有効期間は「令和2年6月11日」までか(原則は1週間。1週間を超える請求の場合は裁判官の指示をあく)
- ☐ 担当裁判官は「〇〇〇〇」 裁判官か(違う場合、XXXXXXXXXX訂正)
- ☐ 逮捕状請求書を添付したか(ホチキス止め)

第3 逮捕状の発付に伴う確認

※ 令状を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 被疑者の氏名
- ☐ 裁判官の押印
- ☐ 逮捕状と請求書1枚目との間に裁判官の契印があるか(請求書一式に請求者の契印がない場合、請求書一式にも裁判官の契印が必要)
- ☐ 訂正印
- ☐ 発付日は「令和2年6月4日」で正しいか

【点検担当者：_____，_____】

緊急逮捕状処理点検票 ☐ 引致後請求（裁判官用）

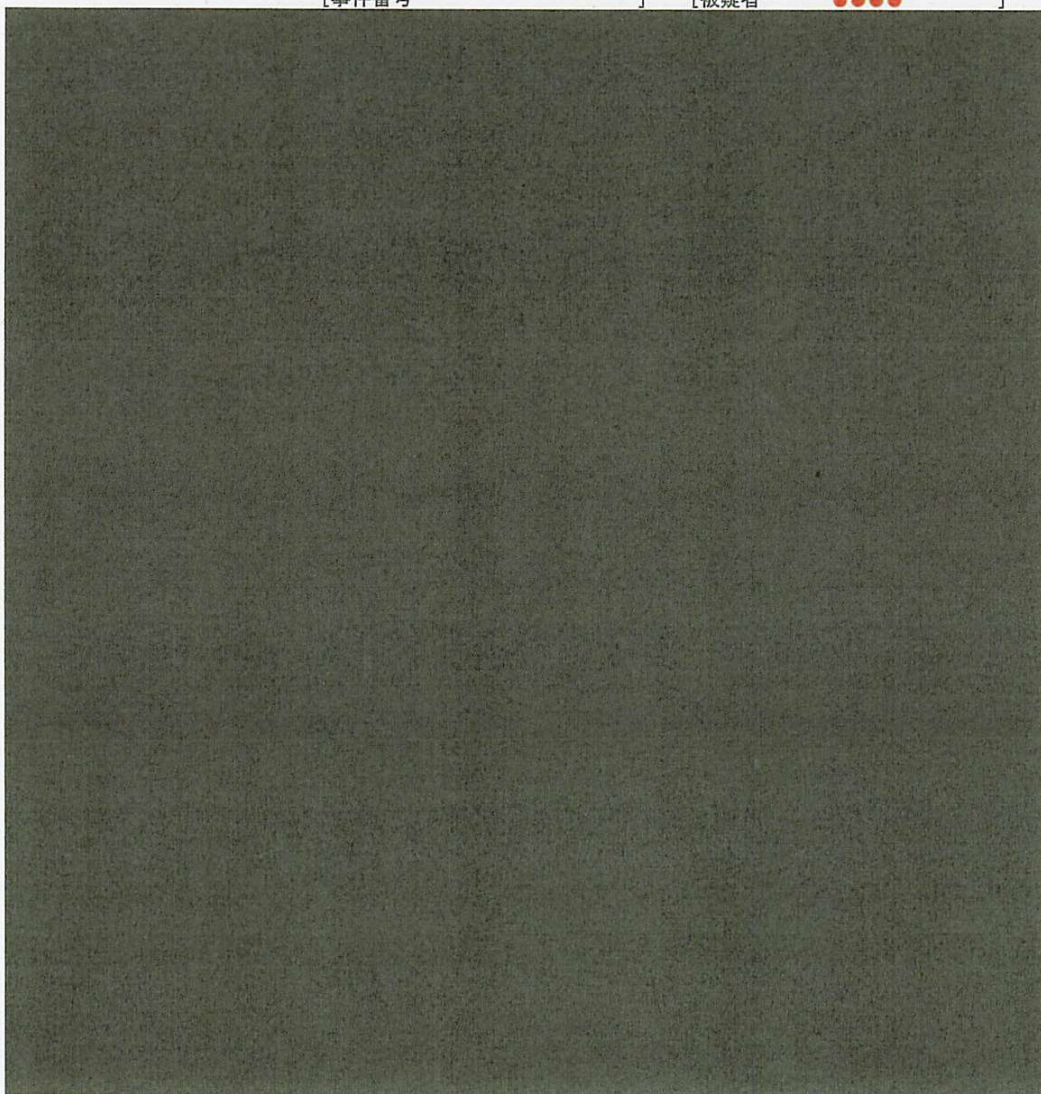
〔事件番号

〕

〔被疑者

●●●●

〕



□引致後請求（書記官用）

1

● ● ● ●

:

第1 逮捕状請求書の点検

※ 請求書を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違ひはないか(午前0時をまたぐ処理の場合特に注意)
 - ☐ 引致後の請求か(引致前請求の場合は、XXXXXXXXXX)
 - ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」で正しいか(地裁処理か簡裁処理かを再度確認)
 - ☐ 受付時刻を令状事件簿備考欄に記入したか
 - ☐ 請求書の作成年月日の記載は正しいか(請求が午前0時に降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意)
 - ☐ 警察署の庁印があるか(漏れている場合は裁判官の指示をあおぐ)
 - ☐ 請求者の官公職氏名(司法巡査でも可)・押印
 - ☐ 罪名は被疑事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
 - ☐ 罪名の法定刑は、死刑、無期懲役、長期3年以上の有期懲役・禁錮か(被疑事実が数個あり、一部のみ要件を満たさない場合、裁判官の指示をあおぐ)
 - ☐ 被疑者の氏名、年齢、職業、住居の記載は正しいか(戸籍謄本、住民票、本籍照会等で確認する)
 - ☐ 逮捕の年月日時及び場所、および引致の年月日時及び場所の記載は正しいか(緊急逮捕手続書の記載と同じであるか)
 - ☐ 引致すべき官公署又はその他の場所は斜線、訂正印があるか
 - ☐ 逮捕者の官公職氏名の記載、逮捕者自身の押印はあるか
 - ☐ 「急速を要し裁判官の逮捕状を求めることができなかった理由及び被疑者の逮捕を必要とする事由」欄に記載はあるか
 - ☐ 被疑事実の要旨に誤字・脱字はないか
 - ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか
 - ☐ 請求書一式に請求者の契印はあるか(ない場合は押してもらう。裁判官の契印で代えることも可)
 - ☐ 原本の記載と謄本の記載は一致しているか(受付日付印・訂正印含む)
 - ☐ 謄本認証は適切か(日付、認証者官公職氏名、認証者印)

第2 逮捕状（緊急逮捕）の作成

- ☐ 令状名は「逮捕状(緊急逮捕)」で正しいか。
- ☐ 被疑者の氏名は「●●●●」で正しいか(外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入)
- ☐ 担当裁判官は「●●●●」 裁判官か(違う場合、 訂正)
- ☐ 発付年月日は「令和元年8月26日」で正しいか(発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする)
- ☐ 逮捕状請求書を添付(ホチキス止め)したか

第3 逮捕状の発付に伴う確認

※ 令状を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 被疑者の氏名

☐ 裁判官の押印

☐ 逮捕状と請求書1枚目との間に**裁判官の契印**があるか(請求書に**請求者の契印**がない場合、請求書一式にも裁判官の契印が必要)

☐ 訂正印

☐ 発付日は「令和元年8月26日」で正しいか

☐ 発付時刻を令状事件簿に記入したか

【点検担当者: _____ , _____ 】

緊急逮捕状処理点検票 ☐ 引致前請求（裁判官用）

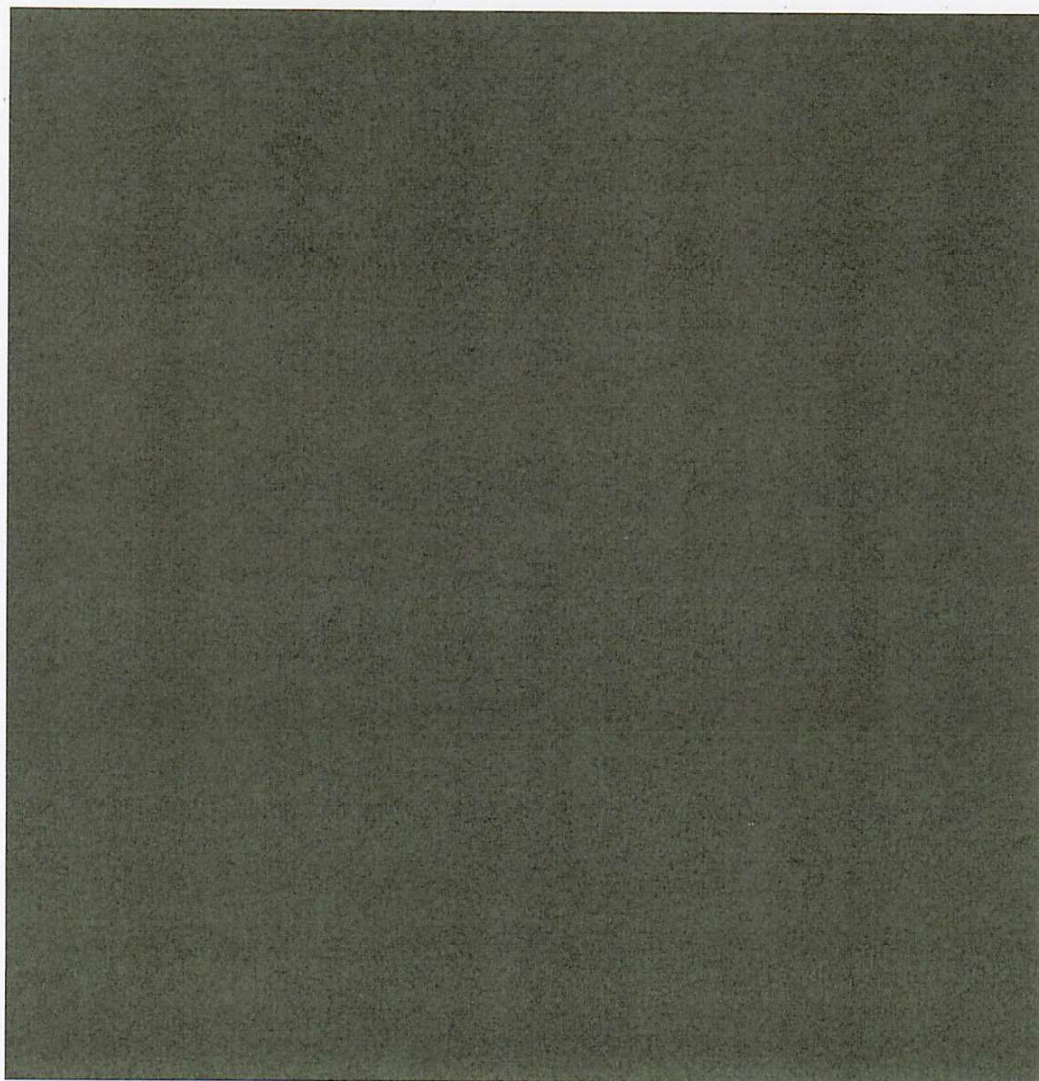
[事件番号

]

[被疑者

●●●●

]



緊急逮捕状処理点検票 □引致前請求（書記官用）

[事件番号

] [被疑者

●●●●

]

第1 逮捕状請求書の点検

※ 請求書を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違いはないか(午前0時をまたぐ処理の場合特に注意)
- ☐ 引致前の請求か(引致後請求の場合、[])
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」で正しいか(地裁処理か簡裁処理かを再度確認)
- ☐ 受付時刻を令状事件簿備考欄に記入したか
- ☐ 請求書の作成年月日の記載は正しいか(請求が午前0時以降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意)
- ☐ 警察署の庁印が原本・謄本にあるか(漏れている場合は裁判官の指示をあらかじめ)
- ☐ 請求者の官公職氏名(司法巡査でも可)・押印はあるか
- ☐ 罪名は被疑事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
- ☐ 罪名の法定刑は、死刑、無期懲役、長期3年以上の有期懲役・禁錮か(被疑事実が数個あり、一部のみ要件を満たさない場合、裁判官の指示をあらかじめ)
- ☐ 被疑者の氏名、年齢、職業、住居の記載は正しいか(戸籍謄本、住民票、本籍照会等で確認する)
- ☐ 逮捕の年月日時及び場所の記載は正しいか(緊急逮捕手続書の記載と同じであるか)
- ☐ 「引致の年月日時及び場所」に斜線、訂正印はあるか
- ☐ 引致すべき官公署又はその他の場所の記載はあるか(「〇〇警察署又は逮捕地を管轄する警察署」とするのが通例)
- ☐ 逮捕者の官公職氏名の記載、逮捕者自身の押印はあるか
- ☐ 被疑事実の要旨に誤字・脱字はないか
- ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか
- ☐ 請求書一式に請求者の契印はあるか(ない場合は押してもらう。裁判官の契印で代えることも可)
- ☐ 原本の記載と謄本の記載は一致しているか(受付印・訂正印含む)
- ☐ 謄本認証は適切か(日付、認証者官公職氏名、認証者印)

第2 逮捕状（緊急逮捕）の作成

- ☐ 令状名は「逮捕状(緊急逮捕)」で正しいか。
- ☐ 被疑者の氏名は「●●●●」で正しいか(外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入)
- ☐ 担当裁判官は「●●●●」裁判官か(違う場合、[]訂正)
- ☐ 発付年月日は「令和元年8月26日」で正しいか(発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする)
- ☐ 逮捕状請求書を添付(ホチキス止め)したか

第3 逮捕状の発付に伴う確認

※ 令状を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 被疑者の氏名
- ☐ 裁判官の押印
- ☐ 逮捕状と請求書1枚目との間に裁判官の契印があるか(請求書に請求者の契印がない場合、請求書一式にも裁判官の契印が必要)
- ☐ 訂正印
- ☐ 発付日は「令和元年8月26日」で正しいか
- ☐ 発付時間を令状事件簿に記入したか

【点検担当者: _____ , _____ 】

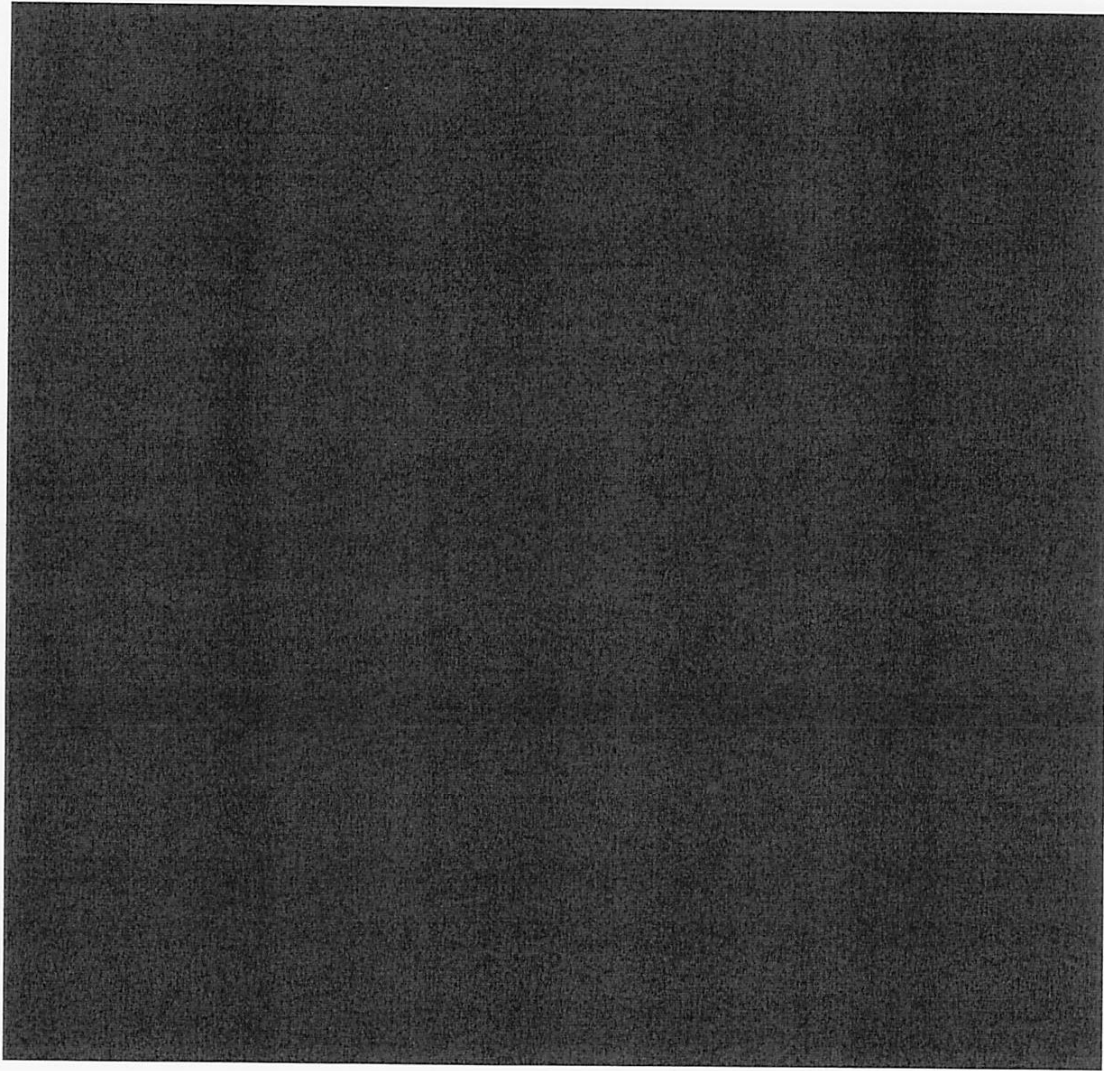
搜索差押許可状处理点検票（裁判官用）

〔事件番号

〕

〔被疑者

〕



搜索差押許可状処理点検票（書記官用）

【事件番号

】

【被疑者

】

第1 請求書の点検

※ 請求書を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違いはないか(午前0時をまたぐ処理の場合特に注意)
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」で正しいか(地裁処理か簡裁処理かを再度確認)
- ☐ 請求書の作成年月日の記載は正しいか(請求が午前0時以降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意)
- ☐ 被疑者の氏名、年齢の記載は正しいか(住民票、本籍照会等人定に関する捜査報告書で確認)
- ☐ 夜間執行の請求欄に記載はあるか(請求しない場合には斜線・押印がされているか。夜間執行の請求がある場合は、XXXXXXXXXX)
- ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか

第2 搜索差押許可状の作成

※強制採尿・採血は別シートで作成すること

- ☐ 令状名は「搜索差押許可状」で正しいか
- ☐ 被疑者の氏名は「〇〇〇〇」で正しいか(外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入。ほか〇名は正しいか)
- ☐ 被疑者の年齢は正しいか(生年月日で記載する。日本人は和暦、外国人は西暦)
- ☐ 罪名は犯罪事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
- ☐ 搜索すべき場所、身体又は物の記載は正しいか(別紙引用している場合は、「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認する。)
- ☐ 差し押さえるべき物の記載は正しいか(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 請求者の官公職氏名の記載は正しいか(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 発付年月日は「令和2年6月4日」で正しいか(発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする)
- ☐ 有効期間は「令和2年6月11日」までか(原則は1週間。1週間を超える請求の場合は裁判官の指示をあおぐ)
- ☐ 担当裁判官は「〇〇〇〇」 裁判官か(違う場合、XXXXXXXXXX 訂正)
- ☐ 請求書の夜間執行の請求欄に斜線・押印はあるか(夜間執行の請求がある場合、XXXXXXXXXX)
- ☐ ホチキスで令状に別紙を添付

第3 搜索差押許可状の発付に伴う確認

※ 令状を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

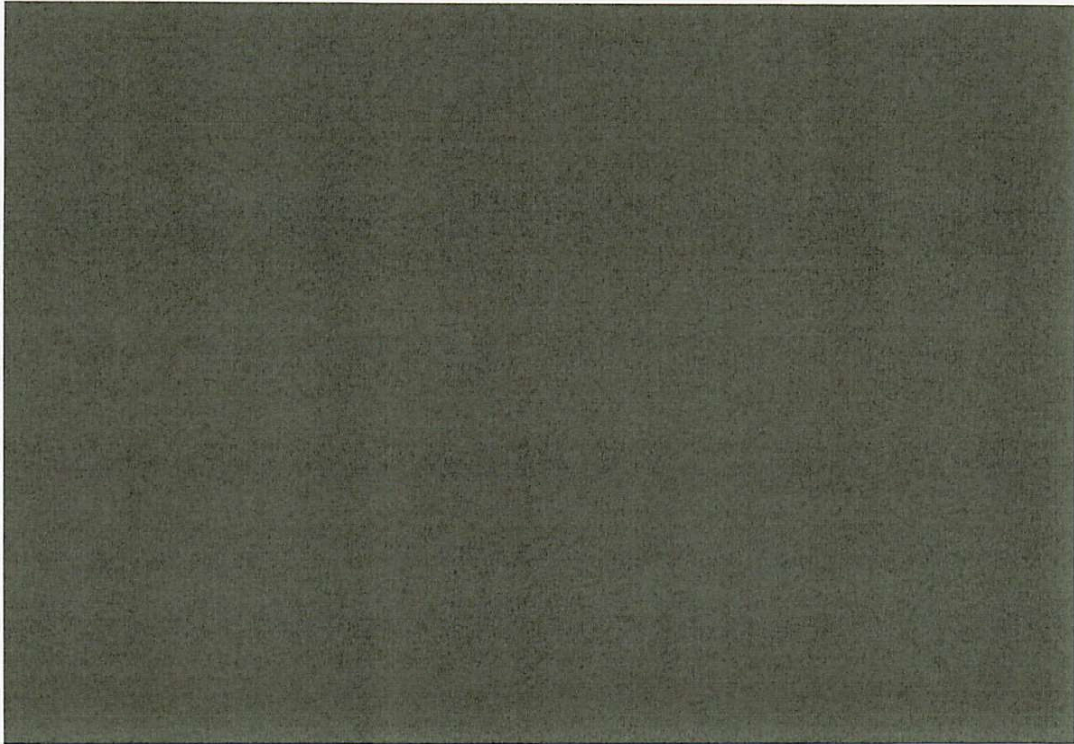
- ☐ 裁判官の押印
- ☐ 契印
- ☐ 訂正印
- ☐ 発付日は「令和2年6月4日」で正しいか
- ☐ 夜間執行許可の裁判官押印
- ☐ 請求書原本は、請求者に返還する

【点検担当者: _____ , _____ 】

差押許可状处理点検票（裁判官用）

[事件番号]

[被疑者 ●●●●]



差押許可状処理点検票（書記官用）

【事件番号

】

【被疑者

●●●●

】

第1 請求書の点検

※ 請求書を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違いはないか(午前0時をまたぐ処理の場合特に注意)
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」で正しいか(地裁処理か簡裁処理かを再度確認)
- ☐ 請求書の作成年月日の記載は正しいか(請求が午前0時以降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意)
- ☐ 被疑者の氏名、年齢の記載は正しいか(住民票、本籍照会等人定に関する捜査報告書で確認)
- ☐ 夜間執行の請求欄に記載はあるか(請求しない場合には斜線・押印がされているか。夜間執行の請求がある場合は、XXXXXXXXXX)
- ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか

第2 差押許可状の作成

- ☐ 令状名は「差押許可状」で正しいか
- ☐ 被疑者の氏名は「●●●●」で正しいか(外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入。ほか○名は正しいか)
- ☐ 被疑者の年齢は正しいか(生年月日を記載する。日本人は和暦、外国人は西暦)
- ☐ 罪名は犯罪事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
- ☐ 差し押さえるべき物の記載は正しいか(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 請求者の官公職氏名の記載は正しいか(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 発付年月日は「令和元年8月26日」で正しいか(発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする)
- ☐ 有効期間は「令和元年9月2日」までか(原則は1週間。1週間を超える請求の場合は裁判官の指示をあおぐ)
- ☐ 担当裁判官は「●●●●」裁判官か(違う場合、XXXXXXXXXX 訂正)
- ☐ 夜間執行の請求はあるか
- ☐ ホチキスで令状に別紙を添付

第3 差押許可状の発付に伴う確認

※ 令状を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 裁判官の押印
- ☐ 契印
- ☐ 訂正印
- ☐ 発付日は「令和元年8月26日」で正しいか
- ☐ 夜間執行許可の裁判官押印
- ☐ 請求書原本は、請求者に返還する

【点検担当者: _____ , _____ 】

検証許可状処理点検票（裁判官用）

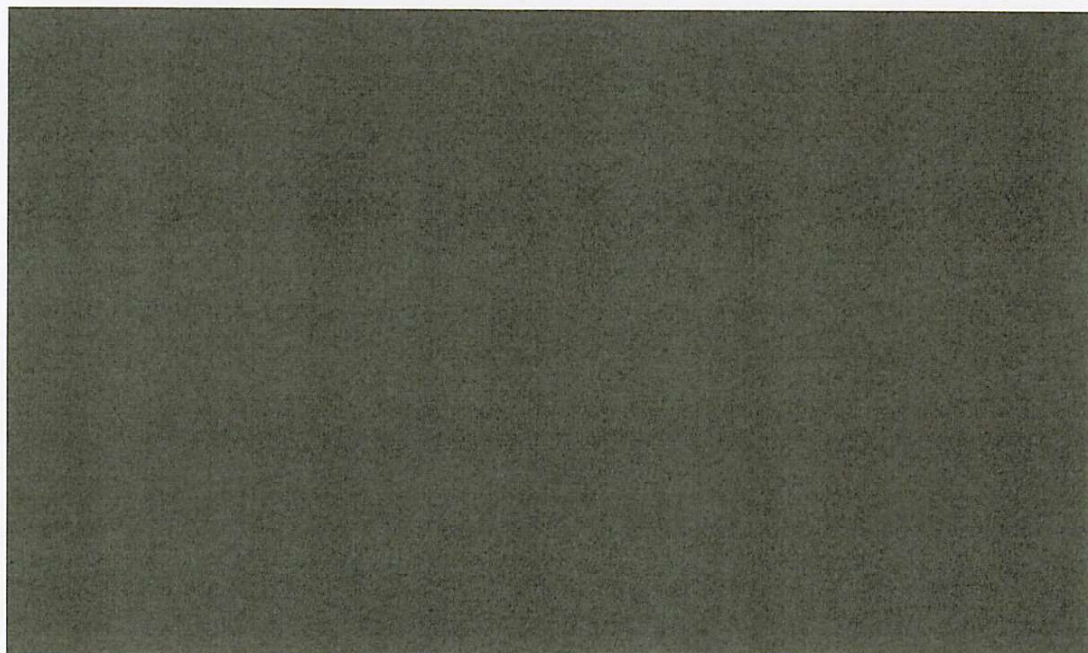
〔事件番号

〕

〔被疑者

●●●●

〕



検証許可状処理点検票（書記官用）

〔事件番号

〕

〔被疑者

●●●●

〕

第1 請求書の点検

※ 請求書を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違いはないか（午前0時をまたぐ処理の場合特に注意）
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」で正しいか（地裁処理か簡裁処理かを再度確認）
- ☐ 請求書の作成年月日の記載は正しいか（請求が午前0時以降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意）
- ☐ 被疑者の氏名、年齢の記載は正しいか（住民票、本籍照会等人定に関する捜査報告書で確認）
- ☐ 夜間執行の請求欄に記載はあるか（請求しない場合には斜線・押印がされているか。夜間執行の請求がある場合は、[REDACTED]）
- ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか

第2 検証許可状の作成

- ☐ 令状名は「検証許可状」で正しいか
- ☐ 被疑者の氏名は「●●●●」で正しいか（外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入。ほか○名は正しいか）
- ☐ 被疑者の年齢は正しいか（生年月日を記載する。日本人は和暦、外国人は西暦）
- ☐ 罪名は犯罪事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
- ☐ 検証すべき場所、又は物（別紙引用している場合は、「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認する）
- ☐ 請求者の官公職氏名（別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認）
- ☐ 発付年月日は「令和元年8月26日」で正しいか（発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする）
- ☐ 有効期間は「令和元年9月2日」までか（原則は1週間。1週間を超える請求の場合は裁判官の指示をあおぐ）
- ☐ 担当裁判官は「●●●●」裁判官か（違う場合、[REDACTED] 訂正）
- ☐ 請求書の夜間執行の請求欄に斜線・押印はあるか（夜間執行の請求がある場合、[REDACTED]）
- ☐ ホチキスで令状に別紙を添付

第3 検証許可状の発付に伴う確認

※ 令状を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

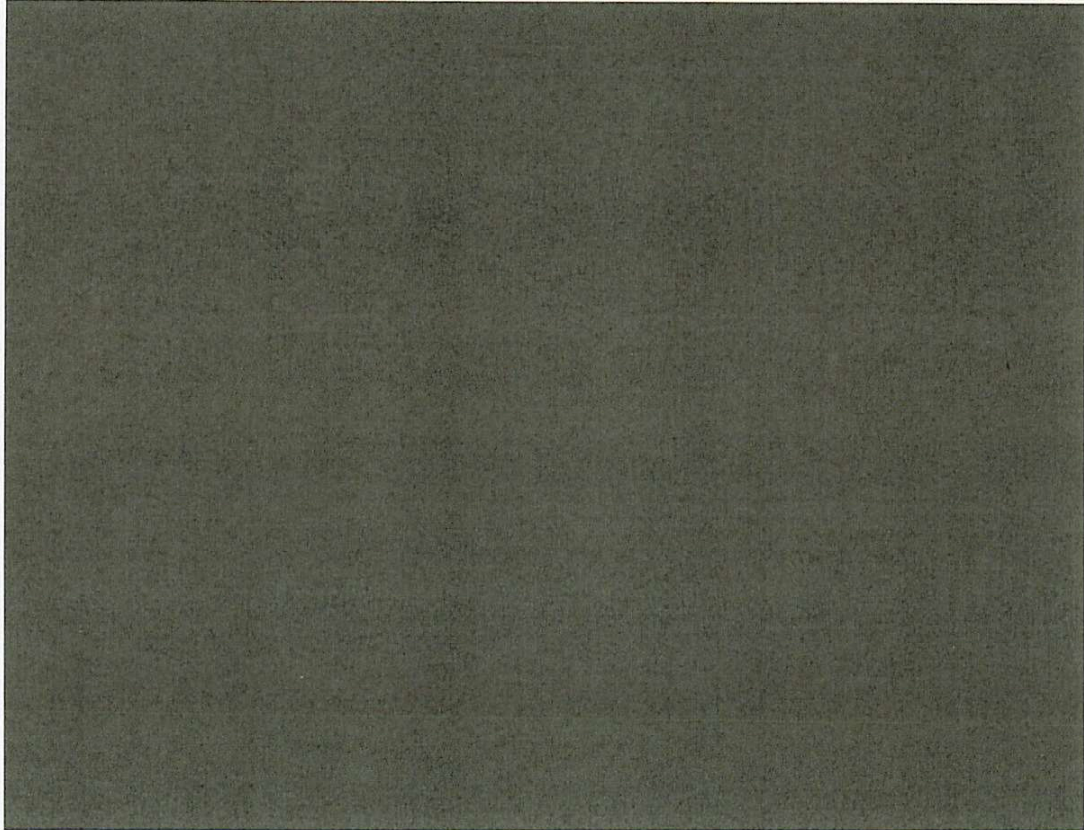
- ☐ 裁判官の押印
- ☐ 契印
- ☐ 訂正印
- ☐ 発付日は「令和元年8月26日」で正しいか
- ☐ 夜間執行許可の裁判官押印
- ☐ 請求書原本は、請求者に返還する

【点検担当者：_____，_____】

鑑定処分許可状処理点検票（裁判官用）

[事件番号]

[被疑者 ●●●●]



鑑定処分許可状処理点検票（書記官用）

〔事件番号

〕

〔被疑者

●●●●

〕

第1 請求書の点検

※ 請求書を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違ひはないか(午前0時をまたぐ処理の場合特に注意)
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」で正しいか(地裁処理か簡裁処理かを再度確認)
- ☐ 請求書の作成年月日の記載は正しいか(請求が午前0時以降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意)
- ☐ 鑑定人氏名・年齢、鑑定嘱託年月日・事項に誤りや過不足はないか(記録上又は請求者に直接尋ねる等して確認)
- ☐ 被疑者の氏名、年齢の記載は正しいか(住民票、本籍照会等人定に関する捜査報告書で確認)
- ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか

第2 鑑定処分許可状の作成

- ☐ 令状名は「鑑定処分許可状」で正しいか
- ☐ 被疑者の氏名は「●●●●」で正しいか(外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入。ほか○名は正しいか)
- ☐ 被疑者の年齢は正しいか(生年月日を記載する。日本人は和暦、外国人は西暦)
- ☐ 罪名は犯罪事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
- ☐ 鑑定人の氏名・年齢及び職業
- ☐ 立ち入るべき場所等(別紙引用している場合は、「別紙記載のとおり」とし、請求書と別紙の内容が一致しているか確認する)
- ☐ 身体検査に関する条件(条件がない場合は、「 」(訂正印は不要)。別紙引用している場合は、「別紙記載のとおり」とし、請求書と別紙の内容が一致しているか確認する)
- ☐ 請求者の官公職氏名(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 発付年月日は「令和元年8月26日」で正しいか(発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする)
- ☐ 有効期間は「令和元年9月2日」までか(原則は1週間。1週間を超える請求の場合は裁判官の指示をあおぐ)
- ☐ 担当裁判官は「●●●●」裁判官か(違う場合、 訂正)
- ☐ ホチキスで令状に別紙を添付

第3 鑑定処分許可状の発付に伴う確認

※ 令状を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

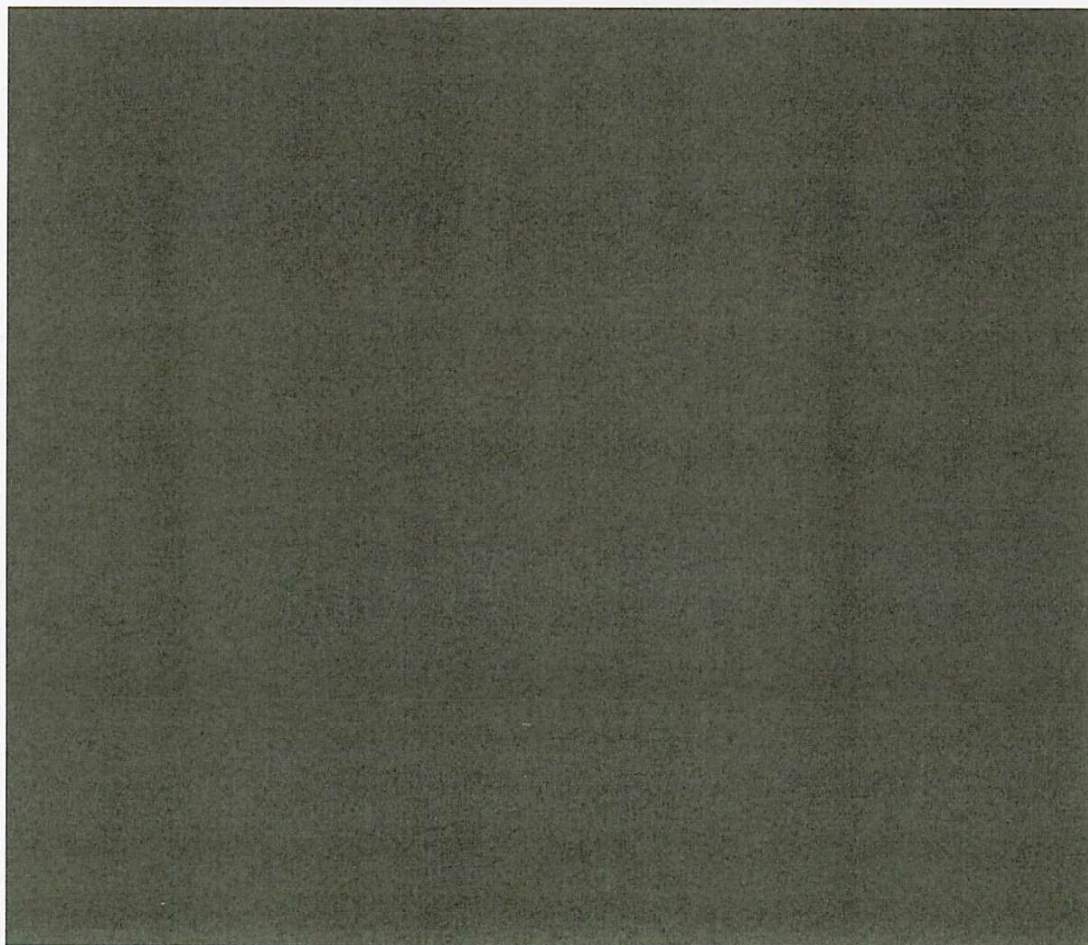
- ☐ 裁判官の押印
- ☐ 契印
- ☐ 訂正印
- ☐ 身体検査に関する条件(ない場合には斜線(訂正印不要))
- ☐ 発付日は「令和元年8月26日」で正しいか
- ☐ 請求書原本は、請求者に返還する

【点検担当者: _____ , _____ 〕

身体検査令状処理点検票（裁判官用）

〔事件番号〕

〔被疑者〕 ● ● ● ●



身体検査令状処理点検票 (書記官用)

1

● ● ● ●

1

第1 請求書の点検

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違ひはないか(午前0時をまたぐ処理の場合特に注意)
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」で正しいか(地裁処理か簡裁処理かを再度確認)
- ☐ 請求書の作成年月日の記載は正しいか(請求が午前0時以降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意)
- ☐ 被疑者の氏名、年齢の記載は正しいか(住民票、本籍照会等人定に関する捜査報告書で確認)
- ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか

第2 身体検査令状の作成

*強制採血の場合は で作成

- ☐ 令状名は「身体検査令状」で正しいか
- ☐ 被疑者の氏名は「●●●●」で正しいか(外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入)
- ☐ 被疑者の年齢は正しいか(生年月日を記載する。日本人は和暦、外国人は西暦)
- ☐ 罪名は犯罪事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
- ☐ 検査すべき身体の記載は正しいか(別紙引用している場合は、「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認する)
- ☐ 身体 の検査に関する条件(女性の場合は「医師又は成年女子をこれに立ち会わせること」の記載があること、男性の場合は斜線処理されていること(押印不要)を確認する)
- ☐ 請求者の官公職氏名(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 発付年月日は「令和元年8月26日」で正しいか(発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする)
- ☐ 有効期間は「令和元年9月2日」までか(原則は1週間。1週間を超える請求の場合は裁判官の指示をおおぐ)
- ☐ 担当裁判官は「●●●●」 裁判官か(違う場合、 訂正)
- ☐ ホチキスで令状に別紙を添付

第3 身体検査令状の発付に伴う確認

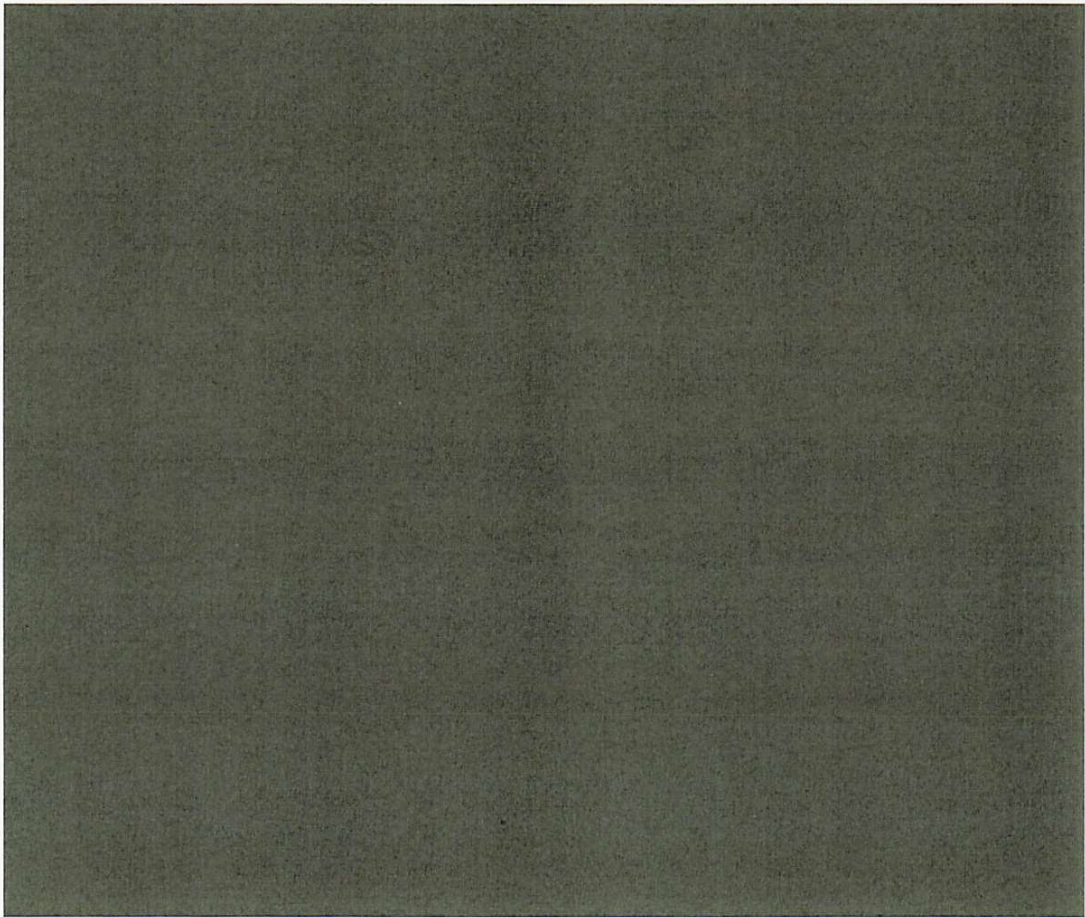
- ☐ 裁判官の押印
- ☐ 契印
- ☐ 訂正印
- ☐ 身体検査に関する条件(ない場合には斜線(訂正印不要))
- ☐ 発付日は「令和元年8月26日」で正しいか
- ☐ 請求書原本は、請求者に返還する

【点検担当者: _____, _____】

搜索差押許可状（採尿） 処理点検票（裁判官用）

〔事件番号〕

〔被疑者〕



搜索差押許可状（採尿） 処理点検票（書記官用）

【事件番号

】 【被疑者



】

第1 請求書の点検

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違いはないか（午前0時をまたぐ処理の場合特に注意）
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」で正しいか（地裁処理か簡裁処理かを再度確認）
- ☐ 請求書の作成年月日の記載は正しいか（請求が午前0時以降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意）
- ☐ 被疑者の氏名、年齢の記載は正しいか（住民票、本籍照会等人定に関する捜査報告書で確認）
- ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか

第2 搜索差押許可状の作成

- ☐ 令状名は「搜索差押許可状」で正しいか
- ☐ 被疑者の氏名は「●●●●」で正しいか（外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入）
- ☐ 被疑者の年齢は正しいか（生年月日を記載する。日本人は和暦、外国人は西暦）
- ☐ 罪名は犯罪事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
- ☐ 請求者の官公職氏名の記載は正しいか（別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認）
- ☐ 採尿場所の指定はないか
- ☐ 発付年月日は「令和元年8月26日」で正しいか（発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする）
- ☐ 有効期間は「令和元年9月2日」までか（原則は1週間。1週間を超える請求の場合は裁判官の指示をあおぐ）
- ☐ 担当裁判官は「●●●●」裁判官か（違う場合、 訂正）
- ☐ ホチキスで令状に別紙を添付

第3 搜索差押許可状の発付に伴う確認

- ☐ 裁判官の押印
- ☐ 契印
- ☐ 訂正印
- ☐ 発付日は「令和元年8月26日」で正しいか
- ☐ 請求書原本は、請求者に返還する

【点検担当者: _____ , _____ 】

採血令状処理点検票（裁判官用）

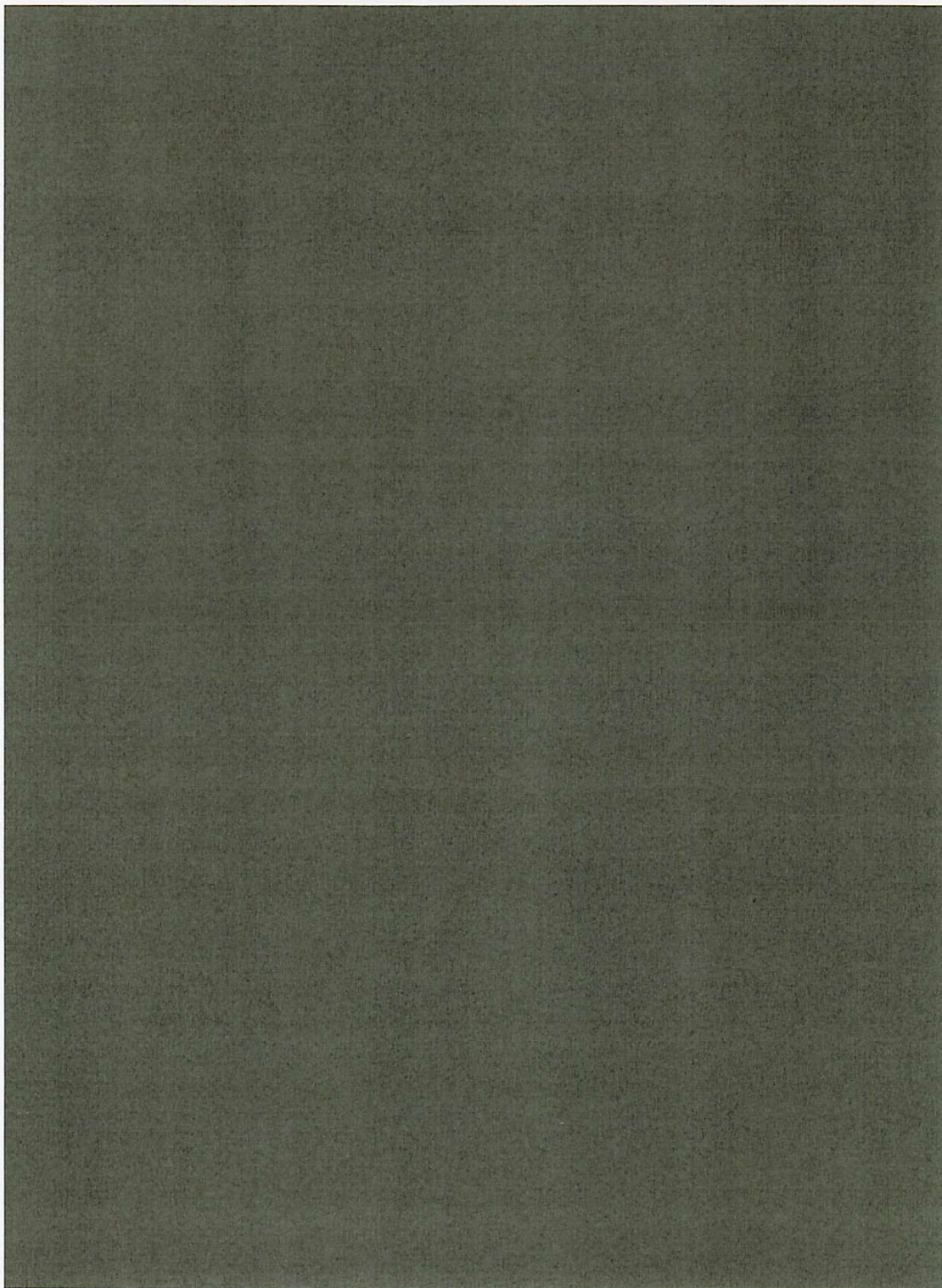
[事件番号]

]

[被疑者



]



採血令状処理点検票 (書記官用)

[事件番号

]

[被疑者

●●●●

]

第1 請求書の点検

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違いはないか(午前0時をまたぐ処理の場合特に注意)
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」で正しいか(地裁処理か簡裁処理かを再度確認)
- ☐ 請求書の作成年月日の記載は正しいか(請求が午前0時以降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意)
- ☐ 被疑者の氏名、年齢の記載は正しいか(住民票、本籍照会等人定に関する捜査報告書で確認)

第2 両令状の作成

鑑定処分 身体検査

令状名は正しいか	☐ 「鑑定処分許可状」	☐ 「身体検査令状」
被疑者の年齢は正しいか(生年月日を記載する。日本人は和暦、外国人は西暦)	☐	☐
被疑者の氏名は正しいか(外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入)	☐	☐
罪名は犯罪事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか	☐	☐
鑑定人の氏名・年齢・職業の記載に誤りはないか(採血をする医師と、検査をする科捜研の技術職員との2名必要)	☐	☐
採血量	☐	☐
請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか	☐	☐
発付年月日は「令和元年8月26日」で正しいか(発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする)	☐	☐
有効期間は「令和元年9月2日」までか(原則は1週間。1週間を超える請求の場合は裁判官の指示をあおぐ)	☐	☐
担当裁判官は「●●●●」裁判官か(違う場合、訂正)	☐	☐
請求者の官公職氏名の記載は正しいか(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)	☐	☐
身体検査に関する条件(女性の場合は「医師又は成年女子をこれに立ち会わせること」の記載があること)	☐	☐

第3 両令状の発付に伴う確認

裁判官の押印	☐	☐
契印	☐	☐
訂正印	☐	☐
発付日は「令和元年8月26日」で正しいか	☐	☐
請求書原本は、請求者に返還する	☐	☐

【点検担当者: _____ , _____ 】

搜索許可状処理点検票（裁判官用）

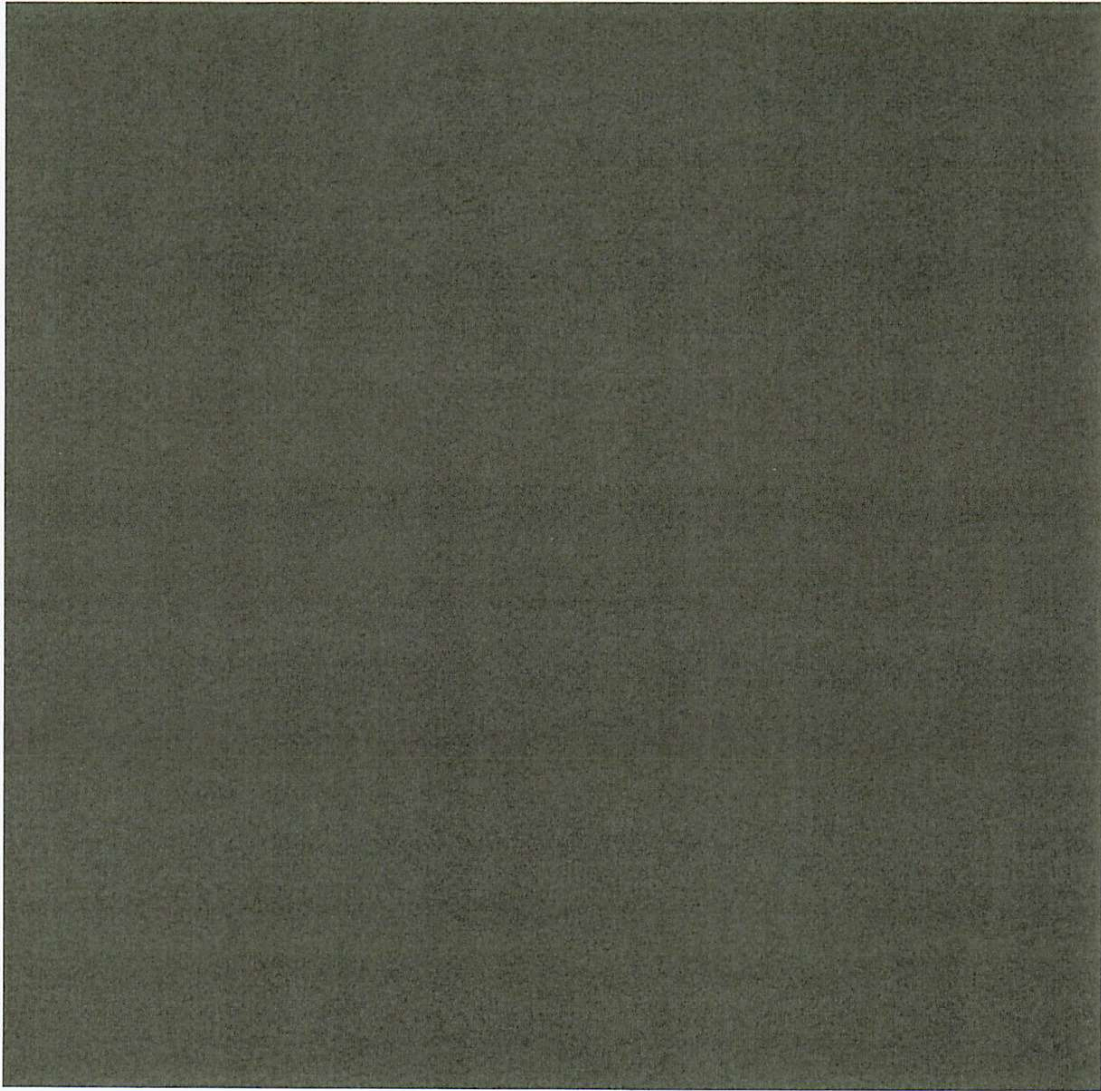
〔事件番号

〕

〔被疑者

●●●●

〕



搜索許可状処理点検票（書記官用）

[事件番号

]

[被疑者

●●●●

]

第1 請求書の点検

※ 請求書を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違いはないか(午前0時をまたぐ処理の場合特に注意)
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」で正しいか(地裁処理か簡裁処理かを再度確認)
請求書の作成年月日の記載は正しいか(請求が午前0時以降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意)
- ☐ 被疑者の氏名、年齢の記載は正しいか(住民票、本籍照会等人定に関する捜査報告書で確認)
- ☐ 夜間執行の請求欄に記載はあるか(請求しない場合には斜線・押印がされているか。夜間執行の請求がある場合は、XXXXXXXXXX)
- ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか

第2 搜索許可状の作成

- ☐ 令状名は「搜索許可状」で正しいか
- ☐ 被疑者の氏名は「●●●●」で正しいか(外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入。ほか○名は正しいか)
- ☐ 被疑者の年齢は正しいか(生年月日を記載する。日本人は和暦、外国人は西暦)
- ☐ 罪名は犯罪事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
- ☐ 搜索すべき場所、身体又は物の記載は正しいか(別紙引用している場合は、「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認する)
- ☐ 請求者の官公職氏名の記載は正しいか(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 発付年月日は「令和元年8月26日」で正しいか(発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする)
- ☐ 有効期間は「令和元年9月2日」までか(原則は1週間。1週間を超える請求の場合は裁判官の指示をあおぐ)
- ☐ 担当裁判官は「●●●●」裁判官か(違う場合、XXXXXXXXXX 訂正)
- ☐ 請求書の夜間執行の請求欄に斜線・押印はあるか(夜間執行の請求がある場合、XXXXXXXXXX)
- ☐ ホチキスで令状に別紙を添付

第3 搜索許可状の発付に伴う確認

※ 令状を令状チェックファイルの該当ページと見比べて各項目を点検する。

- ☐ 裁判官の押印
- ☐ 契印
- ☐ 訂正印
- ☐ 発付日は「令和元年8月26日」で正しいか
- ☐ 夜間執行許可の裁判官押印
- ☐ 請求書原本は、請求者に返還する

【点検担当者: _____ , _____ 】

記録命令付差押許可状処理点検票（裁判官用）

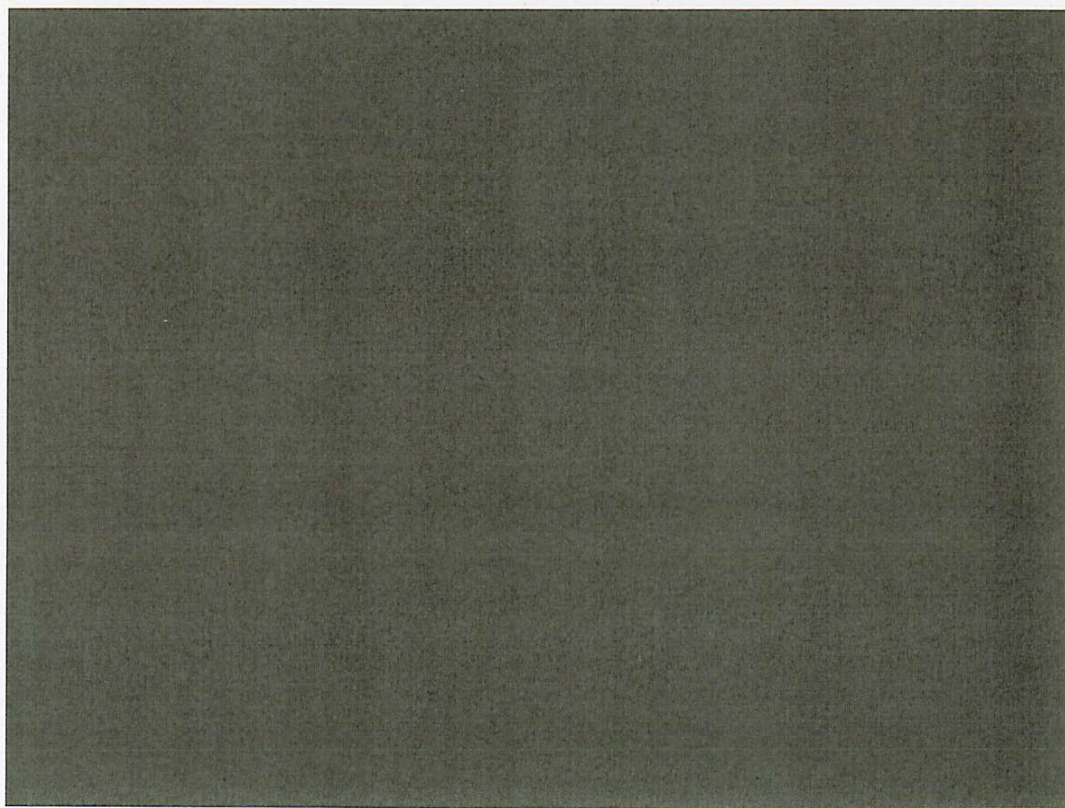
〔事件番号

〕

〔被疑者

●●●●

〕



記録命令付差押許可状処理点検票 (書記官用)

[事件番号

]

[被疑者

●●●●

]

第1 請求書の点検

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違いはないか(午前0時をまたぐ処理の場合特に注意)
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」か(地裁処理)
- ☐ 請求書の作成年月日の記載は正しいか(請求が午前0時以降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意)
- ☐ 被疑者の氏名、年齢の記載は正しいか(住民票、本籍照会等人定に関する捜査報告書で確認)
- ☐ 夜間執行の請求欄に記載はあるか(請求しない場合には斜線・押印がされているか。夜間執行の請求がある場合は、XXXXXXXXXX)
- ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか

第2 記録命令付差押許可状の作成

- ☐ 令状名は「記録命令付差押許可状」で正しいか
- ☐ 被疑者の氏名は「●●●●」で正しいか(外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入。ほか○名は正しいか)
- ☐ 被疑者の年齢は正しいか(生年月日で記載する。日本人は和暦、外国人は西暦)
- ☐ 罪名は犯罪事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
- ☐ 記録させ又は印刷させるべき電磁的記録の記載は正しいか(別紙引用している場合は、「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認する)
- ☐ 電磁的記録を記録させ又は印刷させるべき者の記載は正しいか(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 請求者の官公職氏名の記載は正しいか(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 発付年月日は「令和元年8月26日」で正しいか(発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする)
- ☐ 有効期間は「令和元年9月2日」までか(原則は1週間。1週間を超える請求の場合は裁判官の指示をあおぐ)
- ☐ 担当裁判官は「●●●●」裁判官か(違う場合、XXXXXXXXXX 訂正)
- ☐ 請求書の夜間執行の請求欄に斜線・押印はあるか(夜間執行の請求がある場合、XXXXXXXXXX)
- ☐ ホチキスで令状に別紙を添付

第3 記録命令付差押許可状の発付に伴う確認

- ☐ 裁判官の押印
- ☐ 契印
- ☐ 訂正印
- ☐ 発付日は「令和元年8月26日」で正しいか
- ☐ 請求書原本は、請求者に返還する

【点検担当者: _____ , _____ 】

搜索差押許可状（リモートアクセスによる複写処分）
処理点検票（裁判官用）

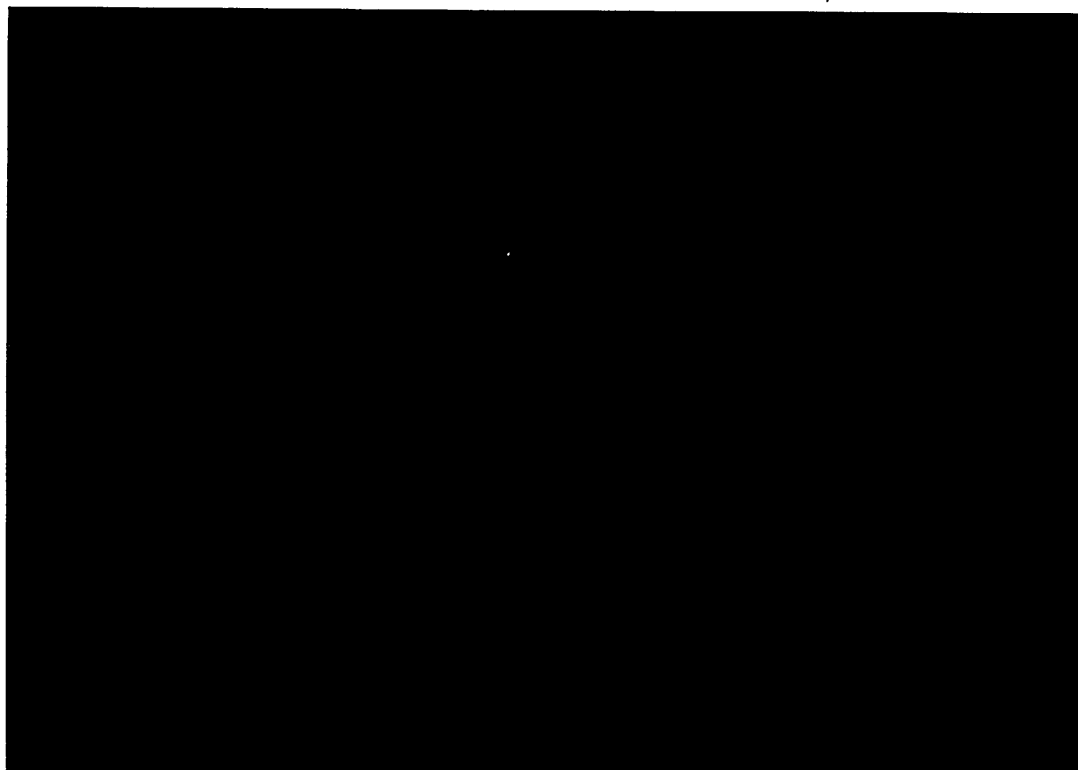
〔事件番号

〕

〔被疑者

●●●●

〕



[事件番号] [被疑者] ●●●●

- ☐ 受付日付印の日付・受理時刻の間違ひはないか(午前0時をまたぐ処理の場合特に注意)
- ☐ 請求先は「さいたま簡易裁判所」か(地裁処理)
- ☐ 請求書の作成年月日の記載は正しいか(請求が午前0時以降だと、請求日と作成年月日が異なる場合があるので注意)
- ☐ 被疑者の氏名、年齢の記載は正しいか(住民票、本籍照会等人定に関する捜査報告書で確認。)
- ☐ 夜間執行の請求欄に記載はあるか(請求しない場合には斜線・押印がされているか。夜間執行の請求がある場合は、XXXXXXXXXX)
- ☐ 請求書の空欄部分に斜線及び請求者の訂正印はあるか

- ☐ 令状名は「捜索差押許可状」で正しいか
- ☐ 被疑者の氏名は「●●●●」で正しいか(外字部分をスペースにした場合、印刷後に手で記入。ほか○名は正しいか)
- ☐ 被疑者の年齢は正しいか(生年月日で記載する。日本人は和暦、外国人は西暦)
- ☐ 罪名は犯罪事実の要旨と照らし合わせて矛盾がないか
- ☐ 捜索すべき場所、身体又は物の記載は正しいか(別紙引用している場合は、「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認する)
- ☐ 差し押さえるべき物の記載は正しいか(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって、その電磁的記録を複製すべきものの範囲の記載は正しいか(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 請求者の官公職氏名の記載は正しいか(別紙引用している場合は「別紙記載のとおり」とする。請求書と別紙の内容が一致しているか確認)
- ☐ 発付年月日は「令和元年8月26日」で正しいか(発付が午前0時を確実に回る場合は発付年月日欄を「翌日」に、午前0時を回るか不明の場合は「未定」にする)
- ☐ 有効期間は「令和元年9月2日」までか(原則は1週間。1週間を超える請求の場合は裁判官の指示をあおぐ)
- ☐ 担当裁判官は「●●●●」裁判官か(違う場合、 訂正)
- ☐ 請求書の夜間執行の請求欄に斜線・押印はあるか(夜間執行の請求がある場合、)
- ☐ ステンプラで令状に別紙を添付

☐ 裁判官の押印

☐ 契印

☐ 訂正印

☐ 発付日は「令和元年8月26日」で正しいか

☐ 請求書原本は、請求者に返還する

【点検担当者: _____, _____】

差押許可状（リモートアクセスによる複写処分）
処理点検票（裁判官用）

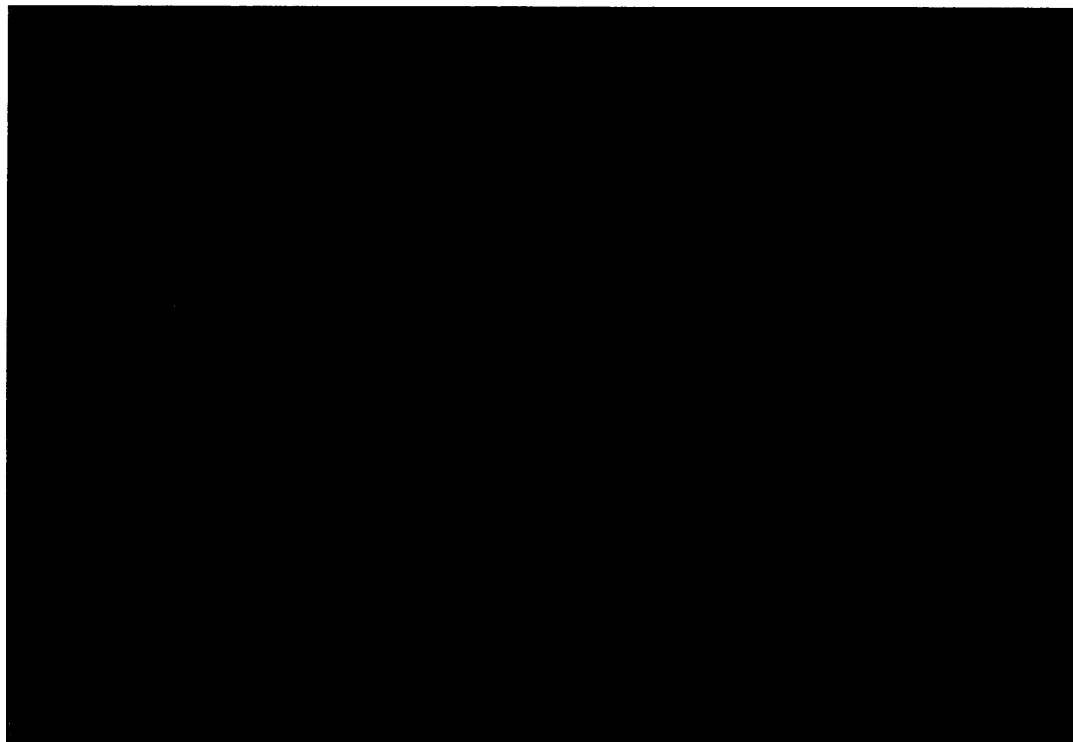
〔事件番号

〕

〔被疑者

●●●●

〕



[事件番号] [被疑者 ●●●●]